

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

夏休みの楽しい過ごし方

夏はキャンプや公園で夕涼みをするときなど、おもちゃ花火で遊ぶことが多くなります。おもちゃ花火といってもその原料は火薬です。決まりを守らないと、火災になったりやけどをしてしまったりして、せっかくの楽しみが台無しになってしまいます。今回は、花火による実際に起こった事故と安全に楽しむポイントとマナーを紹介します。



◎実際に起こった花火の事故

事例① 30歳 男性

ロケット花火の導火線にライターで着火。

着火と同時に破裂し顔面をやけど。

事例② 中学生 男子

自宅前でロケット花火をしていたところ、かやぶき屋根の上に落ちて出火。



◎花火を安全に楽しむために

ポイント

1. 遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
2. 花火を人や家に向けたり、燃えやすいものを近くに置いたりしないようにしましょう。
3. 風が強いときはやめましょう。
4. 水を用意しましょう。
5. 大人と一緒に遊びましょう。
6. 1度にたくさんの花火に火をつけないようにしましょう。
7. 正しい位置に正しい方法で点火しましょう。
8. 花火の筒先に手や顔を絶対に出さないようにしましょう。
9. 花火をポケットに入れたり、分解したり、振り回したりしないようにしましょう。

マナー

1. 時間、場所、風向きを考えて近所の人迷惑にならないようにしましょう。
2. 遊び終わったら必ず、後片付けをしましょう。

万が一おもちゃ花火で事故が起こったときは…

花火に書いてある連絡先や購入したお店などに連絡してください。また、事故の原因となった花火は必ず保存しておいてください。SFマークが付いたおもちゃ花火自体の欠陥で怪我や事故につながった場合は賠償されます。ただし、誤使用や不注意による怪我や事故は賠償されません。ルールとマナーを守って安全に使うようにしましょう。